

### 静岡県総合教育センターの教育相談

#### <会場>

東部：沼津視覚特別支援学校 金曜日

中部：県静岡総合庁舎 毎日

西部：県総合教育センター 月・水・金曜日

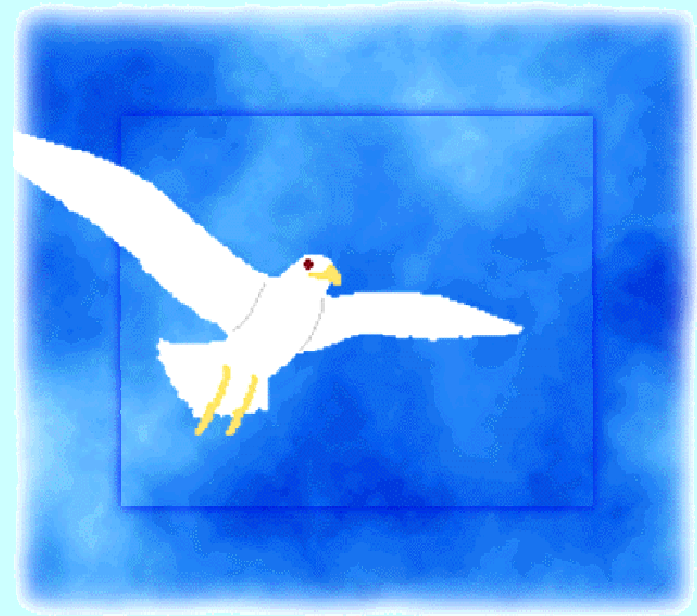
#### <申し込み電話>

054-286-9196 (平日9:00~17:00)



この冊子は、診断を受けている子どもだけでなく傾向を有する子どもを含めて、非行等問題行動への指導の参考になるよう作成しました。


## アスペルガー症候群圏の子どもの 非行等問題行動への対応



### 静岡県総合教育センター 人づくり支援課 教育相談班

この冊子は、静岡県総合教育センターのホームページ（教育相談・生徒指導・進路指導に関すること）と静岡県学校間情報ネットワークからダウンロードできます。

## こんなことはありませんか



・勉強に対する無気力  
・生き物をいたぶる  
・不登校  
・家庭内暴力

・親や教師へ反抗  
・うそを言う  
・危険な物を持ち歩く  
・抑うつ症状、強迫症状  
・心身症

**そのような生徒の中に**  
「深刻なことをしてしまったという怖れの見受けられない。」  
「考えさせて自分で答えを見付けさせようとしたが、それができない。」  
「こちらの言葉の揚げ足を取るようなことを言う。」  
そして、これまで実践してきたような指導が通じない。  
**なぜ 通じないのか、通じる指導は？**



### 障害が存在することの気づきの遅れ

- 1 学業成績はよい場合
- 2 学校では適応困難が見られるが、家庭では目立たない場合
- 3 年齢的に問題行動とはみなされない場合

このほか、年齢とともに周囲の要求水準が上がったため、ストレスがかわり、障害の特性がようやく強く現れるようになることもあります。このため、中学・高校年代ではじめて問題行動があらわれ、ようやく特別な教育的支援を始めることとなる例があります。

## <図書・文献の紹介>

『自閉症とアスペルガー症候群』

ウタ・フリス 東京書籍

『アスペルガー症候群と高機能自閉症の理解とサポート』

杉山登志郎 学習研究社

『アスペルガー症候群と高機能自閉症 青年期の社会性のために』

杉山登志郎 学習研究社

『講談社現代新書 発達障害の子どもたち』

杉山登志郎 講談社

『教師のための高機能広汎性発達障害・教育マニュアル』

あいち小児保健医療総合センター 少年写真新聞社

『私の障害、私の個性』

ウェンディ・ローソン 花風社

『発達障害と少年非行 司法面接の実際』

藤川洋子 金剛出版

『新潮選書「非行」は語る 家裁調査官の事例ファイル』

藤川洋子 新潮社

『なぜ特別支援教育か 非行を通して見えるもの』

藤川洋子 日本標準

『発達障害は少年事件を引き起こさない』

高岡 健 明石書店

『現代のエスプリ アスペルガー症候群を究める Ⅰ』

至文堂

『こころのりんしょう Vol. 25 No. 2』

星和書店

小栗正幸「発達障害が引き起こす二次障害へのケアとサポート⑥少年非行と二次障害」

『月刊実践障害児教育 2008年10月号』 学習研究社

青木省三「成人期の広汎性発達障害への援助」

『そだちの科学・No. 8/4-2007』 日本評論社

井野英江 飯田由美 佐々木司「広汎性発達障害（PDD）の大学生の学生生活に対する支援方法の検討—症例の検討を通して」 『臨床精神医学 38』

## 保護者とのかわり方

アスペルガー症候群の子どもについては、「受容と共感」に終始するアプローチが効果的でないことが強調されるあまり忘れがちになりますが、保護者に対しては「受容と共感」がとても大切です。

子どもは知的に問題がなかったりむしろ高かったりするため、障害があると認識されてこなかった例も多くあります。このような場合、障害の認知が保護者にとっては大きな課題であり、このことについては、専門機関と連携をとりながら取り組む必要があります。

## アスペルガー症候群の方の社会での活躍：ニキ・リンコ氏

『俺ルール！自閉は急に止まらない』他、著作・専門書の翻訳が多数あります。「自閉っ子、えっちらおっちら世を渡る」では、ニキさん自身が、さまざまな体験を重ねて、どのようにして自身の特性をつかみ、世の中のことを理解していったか、ひとつひとつ具体的につつづいています。ユーモアあふれる著作の数々は、アスペルガー症候群の生徒、かかわる教員のどちらにも、力を与えてくれるでしょう。

## 青年期・成人期の支援機関

### ■発達障害者支援センター

静岡県：静岡県発達障害者支援センター（静岡市有明） 054-286-9038

静岡市：静岡市発達障害者支援センター「きらり」 054-285-1124

浜松市：浜松市発達相談支援センター「ルピロ」 053-459-2721

### ■就労支援（厚生労働省委託実施事業）

しずおか東部若者サポートステーション（三島市） 055-972-4344

静岡地域若者サポートステーション（静岡市清水区） 054-355-5101

## アスペルガー症候群とは

知的な遅れはないものの、自閉症圏内の障害です。幼児期は、親を求めない、目線が合わないなどのエピソードが見られます。言葉が出るようになって、オウム返しや、私—あなたという人称の逆転があったり、言語能力が向上後も、比喩や冗談がわからなかったりします。興味の限局があり、好きなことには大変詳しく、〇〇博士と呼ばれたりしていることもあります。順序に固執するなどのこだわりが強くなります。



### 映画の中のアスペルガー症候群キャラクター

「Mr. ビーン」や、「レインマン」、それから「スタートレック」に登場するスポック副長もひとつの例です。アスペルガー症候群キャラクターのスポック副長と勇気と情熱のカーク船長、人情味あふれるDr. マッコイが互いの個性を補いながら活躍する様が素敵です。

**自閉症**とは、3歳位までに現れ、①他人との社会的関係の形成の困難さ、②言葉の発達の遅れ、③興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする行動の障害です。

**高機能自閉症**は、自閉症のうち、知的発達の遅れを伴わないものをいいます。

**アスペルガー症候群**とは、知的発達の遅れを伴わず、かつ、自閉症の特徴のうち言葉の発達の遅れを伴わないものをいいます。

これらの障害のほか小児期崩壊性障害やレット症候群を含めて、社会性の障害を中心とする発達障害を**広汎性発達障害**と呼びます。高機能自閉症とアスペルガー症候群をあわせて高機能広汎性発達障害とまとめて呼ぶことがあります。このリーフレットでは、アスペルガー症候群という表記の仕方をしてしました。

## アスペルガー症候群の問題行動の解説

### 対人接近型

性的な逸脱行動（痴漢、年少児への性加害（同性・異性）、下着盗）が多い。テレビ、漫画などをそのまま模倣した結果、事件となります。

- ・悪質さから推測される人物像と本人の印象との間の隔たり
- ・羞恥の念を抱く様子がほとんどみられない
- ・性的関心の限局性（身体の一部のみ、特定の行為のみ）

### 実験型（対人・対物）

本などで見たものを実験のように試して、事件となります。武器、火炎、薬品、人体内部など関心の対象によっては重大な結果につながります。

### パニック型

興味関心を持っている物事に集中しているのを邪魔されたり、彼らの日常習慣が破られたりするとパニックを起こしやすいことが知られています。時として、他害行動に至ることとなります。

### 本来型

特定のものへの執着から、その収集のために万引、窃盗にいたることがあります。また言葉を額面どおり受けとめるので、「やれるものならやってみる。」と言われて、暴力をふるってしまった例もあります。



### アスペルガー症候群だから事件を起こすのではない

事件を起こした少年がアスペルガー症候群であったという例が見受けられます。このことで、この障害に誤解を持たないようにする必要があります。支援の手がなく、環境要因があいまって、事件等に発展してしまうことがあります。早期に診断されて適切ななかかわりを受けていればこのような事件を起こさなかったと専門家は語っています。

## アスペルガー症候群の子どもの不登校

- ひたすら待っても解決は難しい。
- いじめやかからかいは保護する。
- 子どもへは登校を促す。
- 家庭訪問は、予告した上で行う。不意の訪問は混乱を起こさせることがある。
- 登校してよかったなと思える物事を用意する。
- 登校が不可能であれば、学習できる別の場を用意する。

学校に行きたいけれど行けないという、葛藤を抱えるタイプの不登校とは異なった対応が必要です。「登校する気持ちになれるまでゆっくり待ちましょう。」という対応は誤りです。つらい心情に理解を示しながら、それだけに終始することなく、学校の必要性を丁寧に教える必要があります。

その子が被害的に感じられる場面が多く、そのために不登校になっている場合は、その場面を一つずつ分析し、周囲の人がなぜそのような行動をとったのか、本人はどのようにすればよいのか教えていかなくはなりません。

集団に入ること拒否感が強い場合は、いわゆるご褒美を与えることにより行動の変容を目指す方法が有効です（トークンエコノミー）。このようななかかわり方は、一見、レベルが低いように見えますが、障害の特性に合わせたなかかわり方として有効です。非行の例も、基本は同じです。



登校刺激は、アスペルガー症候群の場合、適切に与えなくてはなりません。このことを強調するあまり、アスペルガー症候群でない子どもについては絶対登校刺激を与えてはいけないうに受け取れる文が散見されます。どのような子どもについても、その不登校の類型やその時期によって登校刺激を控えたり与えたりを適切に行う必要があります。

## 7 判断に迷ったときには、理解ある人に助言をもらうように約束する。

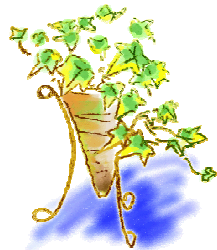
「頭にきたけれど、殴っていい？」と聞いてきた生徒・・・聞いてきたという行動は大変望ましいことと評価できる。正しい行動を教示する。

## アスペルガー症候群圏の子どもとの会話の工夫例

指導場面や日常会話での例を挙げてみました。

- ・あの子の気持ちを考えてみる！  
→〇〇さんがいやだと言ってるよ。
- ・よそ見するな。  
→こちらを見なさい。
- ・なんだ、その服装は！  
→シャツのすそを  
ズボンの中に入れなさい。
- ・今、何をやる時間かな？  
→今は、〇〇する時間だよ。
- ・うるさくしていいのかなあ？  
→静かにしよう。
- ・早くやっしまおう。  
→何時までにやろう。

幼児に注射を受けさせる時は「痛くない、痛くない」・・・そんな風に言うものですが、アスペルガー症候群圏の幼児には、「看護婦さんは痛くないというけれど、本当は少しだけ痛いよ、でも、一、二って数えるうちに痛くなくなるよ。」というように言ってあげます。



## アスペルガー症候群圏の子どもへの不適切なアプローチ

- 1 受容と共感に終始するアプローチ
- 2 被害者の身になってみるよう厳しく迫る。
  - ・アスペルガー症候群圏の障害は相手の身になって考えられない障害である。
  - サリー・アン課題：検索・・・この課題は通常4歳程度でクリアされるがアスペルガー症候群圏の子どもでは小学3・4年くらいになってクリアされる。
- 3 そのうちわかるだろうと待つ。放置する。
- 4 集団一斉指導
- 5 アスペルガー症候群圏の子どもには理解できない当たり前の言葉遣い
  - (1) あいまいな表現
    - ・最近どう？
    - ・適当にやればいいよ。
    - ・そのあたりが問題なんだよ。
  - (2) 否定形の指示
    - ・よそ見するな。
  - (3) 言葉の背後にある意味を読み取る必要がある表現
    - ・出て行け。
    - ・帰れ。
  - (4) 比喩やたとえ話





1 指示等はわかりやすいものにする。

(1) 直接的な指示の形で行う。

「××しないように」ではなく「〇〇をしてください」

(2) 指示は個別に行う。

(3) 言いつ放しにせずに、どのように理解したかを確認する。

(おうむ返しさせるだけでは不十分)

(4) 抽象的な励ましよりも、具体的な指示と約束をする。

(内容、期間、褒美、罰則)

(5) 視覚的な手がかりを活用する。

事情の聞き取り、指導、相談においては、フローチャートのようなものを描きながらの「**目で見える**」コミュニケーションが有効。  
会話の展開が、ゆっくりになることも、副次的に大切な効果である。

- 思考の流れを見せる。
- 選択肢を与える。
- 数直線を用いることも良い。

(6) それぞれの子ども特有の苦手要素（個々で異なるが、大きな声など）はコミュニケーションの中から排除する。

(7) 感情は込めずに淡々と接する。

指導側としては人情味に欠ける感があり抵抗感があるが、情緒理解が困難という認知特性に合わせた説明の方が、納得してもらえる。

「自殺はいい考えとは思えないね。一つには自殺に失敗して脳に損傷が起こるかもしれない。これはよくないよ。」(C.Gillberg)

2 指導は「権威」がはっきりしたものから行うようにする。

この方がわかりやすく有効なケースが多い。校内では校長等、社会においては警察等が考えられる。

3 戦争ゲームなど刺激の強いものへの熱中がある場合は、より安全なことからへ関心を移したり、粘り強く現実場面での善悪の区別を指導したりする。

薬物や爆発、落下という自然現象、性的な事柄についても同様。科学的な知識については、優れた資質として期待するとともに楽観視はしない。

4 環境調整をする。

臨機応変性を求められる環境や、周囲と調子を合わせていく環境は苦手である。スケジュールにそって行動するような環境を与える。環境の調整なしに、本人の成長のみを追及することは子どもを追い詰める。

5 望ましい行動を増加させるはたらきかけをする。

望ましい行動を増やすことにより、不適切な行動を抑える。

6 不適切な行動をしたい気持ちになったら、自分から報告させる。

我慢している状態であることなども報告させる。報告を受けたら、報告して、行動化しなかったことをほめる。

